

200.5.28 毎日新聞

記者のひとりごと

江戸川区

の小学1年
が今年1月
に虐待死し
た事件を受

け、大学生や高校生らが虐待防止に向け子どもたちの意見を募ろうと、アンケートを実施している。記事で紹介後、他の市民団体から「詳しく教えて」と連絡があり想像以上の反響だった。

江戸川の事件では、亡くなった男児のSOSのサインを大人たちが受け止められなかった。アンケートを進める若者グループは「子どもたちが困った時、大人にSOSを出しても無駄な

再発防止に子どもの声

んだと思っほしくなく」との思いが根底にある。

相談機関の人手不足、行政機関の連携不足などと、虐待事件の背景を分析して課題を洗い出すだけでなく、再発防止には、子どもの声をもっと生かすべきだと私も思う。SOSすら安心して出せなくては意味がないのだから、そうならないために、大人も子どもも一緒になって、今の社会に足りない物や必要な物を考えていく必要がある。

意見を持つ社会の一員として子どもをとらえるこの取り組みに、期待している。

【山田奈緒】